

2025年1月吉日

会員各位

一般社団法人日本開発工学会
第11回総合シンポジウム実行委員会
実行委員長 吉池 富士夫

日本開発工学会 2024年度第11回総合シンポジウムのご案内 「日本を活性化させるための提言」

拝啓 初春の候 会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2024年度第11回総合シンポジウムを下記要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。今回のテーマは『日本を活性化させるための提言』とし、講師として会長以下、学会幹部に登壇を願いました。

登壇者は、佐藤一弘会長、平田貞代 副会長、持田昇一副会長、矢本成恒副会長、小平和朗運営委員長の5名の講師による基調講演とパネルディスカッションを行います。本シンポジウムの参加者を募集いたしますので、会員の各位のお申込みをお待ちしております。

敬具

記

- 日時：2025年2月15日（土）13:00～17:00
- 場所：芝浦工業大学豊洲キャンパス 本部棟 2303 教室（東京都江東区豊洲 3-7-5）
- 総テーマ：「日本を活性化させるための提言」
- 主催：一般社団法人 日本開発工学会
- 参加費：本会会員 1,000 円 一般 2,000 円
※シンポジウム終了後、懇親会（参加費：3,000 円）を開催します。
- 参加者：日本開発工学会会員ならびに一般
- 懇親会：【会場】銀座シシリア豊洲店 電話：03-5534-8720
芝浦工業大学豊洲キャンパス内 1 階 ※懇親会費：3,000 円

【申込方法】参加申し込みにつきましては2月13日（木）までに、次の方法にてお申し込み下さい（申し込み詳細（用紙） 後掲）。

Eメール：office@jpmot.org

「氏名、所属、E-Mail、電話番号を記入して下さい」

【タイム・スケジュール】

- ◆開会挨拶&運営要領 シンポジウム実行委員長 吉池 富士夫 13 : 00
(学校法人芝浦工業大学 就職担当理事)
- ◆基調講演
 - 発表 1 東洋製罐グループホールディングス(株)
総合研究所長 (博士 (学術)) 佐藤 一弘 13 : 10
「日本の活性化とイノベーション」
【講演 13 : 10~13 : 30】【質疑&休憩&名刺交換 13 : 30~13 : 40】
 - 発表 2 芝浦工業大学大学院国際理工学研究科
准教授 (博士 (学術)) 平田 貞代 13 : 40
「テクノロジーをいかし価値を最大化するこれからの技術経営学」
【講演 13 : 40~14 : 00】【質疑&休憩&名刺交換 14 : 00~14 : 10】
 - 発表 3 一般社団法人生涯現役ハウス
代表 持田 昇一 14 : 10
「日本活性化のための空家・空人・空金の活用法」
【講演 14 : 10~14 : 30】【質疑&休憩&名刺交換 14 : 30~14 : 40】
 - 発表 4 名古屋商科大学経営大学院
教授 (博士 (工学)) 矢本 成恒 14 : 40
「中小企業のイノベーション支援方法を考える」
【講演 14 : 40~15 : 00】【質疑&休憩&名刺交換 15 : 00~15 : 10】
 - 発表 5 一般財団法人アーネスト育成財団
専務理事 (博士 (学術)) 小平 和一郎 15 : 10
「風の時代に求められる技術経営戦略を考える」
【講演 15 : 10~15 : 30】【質疑&休憩&名刺交換 15 : 30~15 : 40】
- ◆パネルディスカッション 15 : 50
佐藤 一弘 (講演者)、平田 貞代 (講演者)、持田 昇一 (講演者)
矢本 成恒 (講演者)、小平 和一郎 (講演者)、吉池 富士夫 (進行役)
- ◆総括 日本開発工学会 会長 佐藤 一弘 16 : 40
- ◆懇親会 銀座シシリア豊洲店 (芝浦工業大学豊洲キャンパス内 1 階) 17 : 00

基調講演 1 佐藤 一弘 東洋製罐グループホールディングス㈱総合研究所長（博士（学術））

【演 題】「日本の活性化とイノベーション」



【講演概要】

近年、日本は経済成長の停滞、少子高齢化、技術革新の遅れ、グローバル競争力の低下といった課題に直面しています。特にデジタル分野での遅れが目立ち、国際競争力ランキングでも順位が低下しています。

これを打破し、日本を再度活性化するためには、企業によるイノベーションが必要不可欠です。イノベーションの創出には、研究開発と製品・サービスの創出だけでなく、市場に変化をもたらすデザインの重要性が求められます。

本発表では、イノベーション論を踏まえた研究開発活動について、戦略と方法論を議論したいと考えています。

【講演者プロフィール】

1985年～東洋製罐㈱にて容器の材料開発に従事

2000年～太陽電池や再生医療など新規事業開発に従事

2016年～免疫細胞培養企業 リンフォテック㈱社長

2018年～東洋製罐グループホールディングス㈱総合研究所 所長

基調講演2 平田 貞代 芝浦工業大学大学院国際理工学研究科 准教授(博士(学術))

【演題】「テクノロジーをいかし価値を最大化するこれからの技術経営学」



【講演概要】

技術経営学(Management of Technology : MOT)は、2003年にはじめて日本の大学に設置されました。MOTという言葉は知っていても、そもそも、なぜ技術経営学は構築されたのか、なぜ米国は国策として1981年以降マサチューセッツ工科大学を中心にMOT教育に注力したのか、などの経緯については、さほど知られていないのではないのでしょうか。実は、この経緯には日本が直接関係しており、今まさに日本で重要となる教訓が含まれています。

また、昨今、目まぐるしく進化を続ける技術は、経営を取り巻く環境にも大きな変化を与えています。この変化を乗り越えるために、MOTは、技術者、研究開発者、経営者だけでなく、全ての人々にとって重要な知識と理論であると言っても過言ではありません。

本講演では、MOTの起源から今日までを振り返り、あらためてMOTを経済活動や価値創造に役立てるための議論を展開します。

【講演者プロフィール】

東京工業大学博士後期課程で技術経営学を研究し博士(学術)取得。MOT、情報産業、価値共創、サービスサイエンス、文化人類学の経営への応用(ビジネスエスノグラフィ)、地域活性化、ダイバーシティインクルージョン、人材育成などの実践的研究や産学官連携に従事。

1987 富士通(株)入社、Fujitsu HongKong Ltd.勤務

2011 法政大学大学院客員准教授

2013 芝浦工業大学大学院准教授 現職

2019 日本学術会議連携委員 現職

2020 東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻特任准教 現職

2022 SCSK(株)社外取締役 現職

2022 情報サービス産業協会 JISA 人材育成委員会委員 現職

2023 21世紀職業財団 IT産業女性研究会主査 現職

2023 国立情報通信研究機構社会実装・海外展開思考型戦略的プログラム評価委員 現職

2023 総務省情報通信審議会通信技術分科会技術戦略委員会構成員・主任 現職

基調講演3 持田 昇一 一般社団法人生涯現役ハウス 代表

【演題】「日本活性化のための空家・空人・空金の活用法」



【講演概要】

成長後のスポンジ化する社会においてイノベーションの最短回路は未活性資源の新結合である。

偶然の出会いを失った未活性な場所を一瞬で変えるには劇的な想像力が求められる。コモディティ市場である<住宅><人材><金融>の再定義から未来のベンチャーを構想する。

【講演者プロフィール】

2000年代より（一社）日本開発工学会に RT、IoT 関連の研究ジャーナルを発表。2019年『仕事付き高齢者住宅（仕高住）』を開発工学誌に発表。2020年（一社）生涯現役ハウスを設立。居住支援法人として東京都、神奈川県の認定を受ける。2024年に住まい環境整備モデル事業（国交省）の採択を受け、横浜・寿町の共創まちづくり事業に取り組む。

基調講演 4 矢本 成恒 名古屋商科大学経営大学院 教授（博士（工学））

【演 題】「中小企業のイノベーション支援方法を考える」



【講演概要】

日本の中小企業は、全企業数の99%以上・全従業員数の約7割・全付加価値額の5割以上を占める大きな存在です。近年はイノベーションの推進が求められていますが、特に企業のコア技術と市場ニーズを繋ぐことが難しく、大学・企業・公的機関などの支援が期待されています。本講演では、国内外の経営大学院の企業支援の動向などを踏まえ、日本の中小企業のイノベーション支援の効果的な方法を考察します。

【講演者プロフィール】

名古屋商科大学経営大学院教授・学長補佐研究担当（MBA国際認証校）、東京人財育成株式会社取締役、株式会社 INFINILINK 取締役、中小企業診断士
研究者と教育者としては、イノベーションマネジメント分野での研究や講義を実施中
ビジネス実務者としては、新規事業や企業経営に関する講演や研修を継続中

（NTT 持株会社国際戦略部門担当部長、ベンチャー経営者、経営コンサルタントを経て現在に至る）

東京大学博士（工学）、東京大学卒業（教養学士）、筑波大修士（MBA）

基調講演5 小平 和一郎 (一財)アーネスト育成財団 専務理事 (博士 (学術))

【演 題】「風の時代に求められる技術経営戦略を考える」



【講演概要】

日本経済は予測できない社会環境の変化の中にある。「風の時代」が到来している。変革の時こそ、企業が躍進する好機でもある。

1990年柄始まる低成長、「失われた30年」が過ぎた。「失われた30年」の原因に、配当重視の経営と日本の経営者に外圧が掛かり、利益出しをするために設備投資も研究開発投資もやめた。国の政策にも外圧が掛かり、国家プロジェクト、学術投資に力を入れなくなった。企業は、その利益で配当と役員給与のみを上げると共に内部留保に走った。利益出しで非正規社員を競争力強化として制度化し、日本の賃金水準を低くし、国内消費を低調にし、貧乏な日本人を作ってしまった。

その原因は、日本企業の内向な経営マインドにある。マインドチェンジが必要だ。変革の嵐に耐えられる技術経営戦略について考えていることを報告する。意見交換をしたい。

【講演者プロフィール】

一般財団法人アーネスト育成財団専務理事、株式会社イーブランド21代表取締役などに従事。研究者としては、技術経営戦略、ブランド、経営人財の育成など分野での研究や講義に取り組む。「エンジニアリング・ブランド」を提唱し、ブランド研究に取り組む。アーネスト育成財団では「西河技術経営塾」を企画・運営し10年余、100名近い経営者を育成。千葉の敬愛大学では、経営学部経営学科の学生に技術経営学を講義し、工学に関する基礎知識のない文系の学生にとって、技術経営学が入門経営学、つまり経営学の基礎知識となることの実証研究に取り組んでいる。数社の経営コンサルタントに現在も取組むと共に実務的な視点での研究活動にも取り組んでいる。

著書に『エンジニアリング・ブランドのすすめ (日刊工業新聞社)』『パワービルダーの家づくりビジネス戦略 (日刊工業新聞社)』『西河「技術経営学」入門 (芙蓉書房)』などがある。芝浦工業大学電子工学科卒、芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科 (MOT) 修了。芝浦工業大学大学院工学研究科博士 (後期) 課程修了。博士 (学術)。

【会場へのアクセス】

会場住所：東京都江東区豊洲 3-7-5 芝浦工業大学豊洲キャンパス

芝浦工業大学豊洲キャンパス



電車、地下鉄をご利用の方

- ◆ 東京メトロ有楽町線「豊洲駅」1c または3番出口から徒歩7分
- ◆ ゆりかもめ「豊洲駅」から徒歩9分
- ◆ JR 京葉線「越中島駅」2番出口から徒歩 15分

主要駅から都営バスをご利用の方

- ◆ JR 新橋駅銀座口 6 番のりば「業 10 または業 10 出入系統」乗車約 20 分。IHI 前から徒歩 2 分
- ◆ 東京駅八重洲口 10 番のりば「東 16 系統」乗車約 18 分。IHI 前から徒歩 2 分

お願い

- キャンパス内の駐車場はご利用いただけません。公共交通機関でお越しください
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、場内でのマスク着用や手指消毒等にご協力ください

日本開発工学会 第11回総合シンポジウム参加申込書

- 開催日時 : 2025年2月15日(土) 13:00~17:00
- 申込締切 : 2025年2月13日(木) *厳守
- 送信先 : 日本開発工学会第11回シンポジウム事務局
office@jpmot.org
- 参加資格 : 日本開発工学会会員

参加シンポジウム

(現地会場に参加、ZOOM参加のいずれかに○を付けてください)

- () 現地会場に参加「懇親会も参加」
- () 現地会場に参加「懇親会は不参加」
- () Zoom参加「懇親会は不参加」

氏名		所属	
連絡先住所(勤務先・自宅)			
電話		会員	本会会員()、 一般()
E-mail			

お問い合わせ：日本開発工学会第11回総合シンポジウム事務局

office@jpmot.org Tel:03-6276-6260

【第11回総合シンポジウム実行委員会】

実行委員長	吉池 富士夫（副運営委員長：学校法人芝浦工業大学理事）
実行委員	渋谷 加津美（運営委員：株式会社タムラ製作所） 森下 あや子（運営委員：日本経済大学大学院教授）
運営委員長	小平 和一朗（一般財団法人アーネスト育成財団専務理事）
事務局長	山中 隆敏（株式会社メディカルパーフェクト代表取締役）

日本開発工学会 第11回総合シンポジウム本部事務局 連絡先

e-mail : office@jpmot.org Tel : 03-6276-6260 Fax : 03-6276-2424

所在地：〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-57-2 ドルミ代々木 704 号
一般社団法人アーネスト育成財団内 一般社団法人日本開発工学会事務局